

ふしょうっこ日記

令和 7 年5月30日

「大学との共同研究」

本校は、ご存知のとおり滋賀大学教育学部の附属小学校です。そのため、大学の先生方と共同研究に取り組んでいます。本年度の取組の一つは、5 年生で「稲作の実体験×温暖化×教科横断的な学習」です。

現在、温暖化が進行しています。農業に携わっている方々は、稲作でも温暖化で困っておられることがあります。そのことを子供たちに投げかけ、美味しいお米を食べ続けられるように、米作りをしながら米の生産や温暖化について考えていくことになりました。

今日は、米の種をまきました。底に2つずつ穴を開けた牛乳パックやヨーグルトのカップを用意し、育苗培土を入れて、水に 5 日間ほど浸しておいた種をまきます。子供たちは、種をやさしく触り、土の上に並べていました。「これ、食べるの?」と食べることを楽しみにしている様子が見られました。社会科、理科、算数科、国語科、家庭科の教科を横断しながら学びを深めていきます。米の生長とともに、この学習をとおしての子供たちの成長も楽しみです。

